

種ばくだんを笑顔で作る園児



## 種ばくだんでガーデニング 八戸学院聖アンナ幼稚園

八戸

6月5日の世界環境デーに合わせ、八戸学院聖アンナ幼稚園（山西幸子園長）は同日、土と粘土にいろいろな種類の種を混ぜた泥団子を作って園庭にまく「種ばくだんでガーデニング」を開催した。年長児13人は種子入りの泥団子を作りながら、花や野菜が芽吹くことに期待していた。

地球環境に興味や関心を持ってもらおうと、2021年度から開催している。年長児は作り方の説明などを受けた後、粉状にした園芸用の土と粘土にコメやムギ、ヒマワリ、スイカなどさまざまな種を混ぜ込んで泥団子を完成させた。種ばくだんは1週間ほど乾かした後、園庭にまく。

川口美海ちゃん（6）は「種ばくだんを作るのがめっちゃくちゃ楽しかった。ヒマワリが大きく育つのが楽しみ」と笑顔を見せた。

また、同日は年少、年中児らが事前に職員で作った別の種ばくだんを園庭にまくところとまく作業も行った。（藤村大地）